

発 達 P2168

幼児期における文字の読み書き能力（7）

— 読みテスト低得点児の分析 —

東 洋¹⁾ 内田 伸子²⁾ 大熊 徹⁴⁾ 柏木 恵子¹⁾
 佐々木 保行⁵⁾ 柴崎 正行⁶⁾ 関口 はつ江³⁾ 無藤 隆²⁾
 繁多 進¹⁾ 唐澤 真弓¹⁾ 福島 朋子¹⁾ ○大野 祥子¹⁾
 (1 : 白百合女子大学 2 : お茶の水女子大学 3 : 郡山女子大学
 4 : 東京学芸大学 5 : 鳴門教育大学 6 : 東京家政大学)

〔問題〕本研究は子どもの国語能力の獲得過程とその環境要因を検討することを目的として行われた3年間の縦断研究の継続報告である。これまでは、3、4、5歳児のかな文字の読み書き能力、語彙力と小学校入学時の国語力との相関、環境要因の実態について全体的な報告がなされた。ここでは、幼児期の読み書き能力と国語力との関係をより詳細に検討するために、幼稚園での読み書き能力の得点が特に低かった子ども、幼稚園での得点は高かったが小学校での得点が低くなった子どもについて、その環境的要因の特徴を明らかにすることを目的とする。

〔方法〕初年度調査時の5歳児で、一年後の追跡調査で国語テストを受けた子どもの中から、以下の特徴を持つ子どもを抽出した。

LL群（23人）：5歳時の可読文字数46文字以下で、
小学校一年時の国語テスト得点の偏差値50未満。

LH群（12人）：5歳時の可読文字数46文字以下で、
小学校一年時の国語テスト得点の偏差値50以上。

HL群（19人）：5歳時の可読文字数全71文字で、
小学校一年時の国語テスト得点の偏差値50未満。

表1 子どものテスト得点 3群の平均（SD）

	LL群	LH群	HL群
読みテスト	19.09 (16.54)	18.83 (15.29)	71.00 (0.00)
書きテスト	7.74 (3.51)	8.50 (4.15)	10.74 (1.56)
語彙テスト	16.57 (4.88)	19.17 (3.43)	20.37 (5.35)
国語テスト	43.12 (5.71)	53.11 (2.11)	45.39 (6.29)
小学生用語彙テスト	12.32 (5.33)	17.92 (4.38)	18.53 (6.14)

初年度に、子どもの母親に対して行った質問紙調査の中から、文字に対する意識、文字環境、母親の日常的行動について、比較をおこなった。

〔結果と考察〕3群で、環境的要因の比較を行った結果、母親の日常的活動について、差がみられた（表2）。

表2 母親の日常的活動 3群の平均（SD）

	LL群	LH群	HL群
テレビを見る	0.74 (.45)	0.33 (.49)	0.79 (.42)
文字活動	1.00 (.67)	1.75 (.75)	1.37 (.76)

LH群の母親は、他の群に比べ、テレビをあまり見ておらず、新聞を読む・手紙を書くといった文字活動が多い。こうした結果は、全体的分析で得られた結果とも一致する。全体的分析では、新聞を読むと答えた母親の子どもの方が、読まないとした母親の子どもよりも、読み書き・語彙得点が高かった。これらの結果から、幼稚園で文字の読み書きができなかった子どもが、小学校での国語力が平均以上になるには、母親が日常的場面でどのような活動をしているかが関係していることが明らかになった。子どもの国語能力に影響を与える要因としては、親の意識や本の数などの直接的環境が注目されるが、親自身の生活態度という子どもにとっての間接的な環境要因も影響していることが示唆される。

本研究は平成6年度文部省科学研究費総合研究(A)「幼児期における文字の獲得過程とその環境的要因」（研究代表者東洋）による研究の一部である。